



# 優秀賞 (居室部門)

タイトル

デスクコーナーが生活を変える

タイプ

持家共同建

講評

6畳の和室を2分割し、書斎スペースと収納空間を確保している。書斎コーナーを腰壁で仕切り、リビングの一部に取り込むことで、広がり対面性が生まれている。施主家族の暮らし振りが想像できてほえましい。

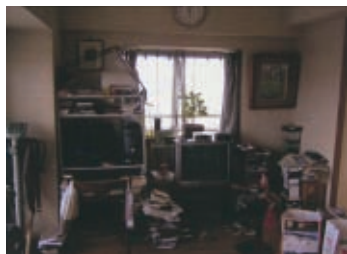
リフォーム前後の写真



リフォーム前A'



リフォーム前B'



リフォーム後B



リフォーム後C



リフォーム後D



リフォーム後A

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など	
《リフォームの動機》	
1. 居間と和室にご主人の大量の本・洋服・ビデオ類などが散乱しており、足の踏み場もない状態。片付けてソファを置きたい。	作業できる長いカウンターを設置し、散らかし放題でも居間側から見えないよう腰壁を立ち上げた。腰壁の一部をアクセントウォールとし、パソコンの裏側やプリンターが見えないよう工夫した。
2. 仕事柄ご夫婦二人とも自宅でパソコンを使っている作業が多い。二人並んで作業できるスペースがほしい。	《施主の感想》
《設計・施工の工夫点》	「個室の書斎をイメージしていたので、最初はこのプランに抵抗がありましたが、これまでの暮らしを考えれば居間に本棚があってもいいのかなと。『ごはんよ!』と呼ぶとパッと出てきてくれるのは、この形だからこそですね。今まで床で開いていたノートパソコンもデスクで使えるようになります。予想外に次男もここで勉強するようになりました。」

特に配慮した住宅性能:			
データ			
所在地	神奈川県茅ヶ崎市	構造/築後年数	鉄筋コンクリート造 / 築17年
該当工事面積	33.36 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	390 万円
居住者構成	4 人 (大人 <15歳以上)	4 人 子供	1 人 ペット
設計者	三井ホームリモデリング(株)	担当者	星野 美奈子
施工者	同上	担当者	原田 一夫

リフォーム前 | リフォーム後

